

特集

わたしを“啓く”場所

学習、行事、部活動、そして進路実現、こうした毎日の学校生活を頑張る碧高生1人1人が「碧南高校の魅力」です。今回は、そんな碧高の魅力を少しかけ紹介します。

進路実現



普通科 3年
阿部 咲之介
知立市立知立中出身

僕は中学生の頃、あまり勉強せず遊んでばかりいました。しかし、碧南高校に入学し、英語を使う職に就きたいという夢ができてからは、目の色を変えて勉強するようになりました。高2の時は、部活が週に6日ある中で英検2級を取得しました。また受験生になってからは、問題集の基礎編だけでなく応用編も網羅するほど毎日机と向き合いました。その甲斐あり、第一志望の大学に合格することができ、忍耐力や目標を達成することの大切さ、難しさを学びました。
残り少ない学生生活ですが、気を抜かず、更なる高みを目指して勉強していきたいです。皆さんも是非目標を定め、そのための努力をしてみてください。



普通科 2年
池田 安里
高浜市立高浜中出身

私は国語科の先生になることを希望しているので、文型を選択しました。元々、全ての教科の中で国語が一番好きで、読書が好きだったこともあり、現在は希望する進路に加えて好きなのを学べています。2年生に進級してから、より一層勉強へのモチベーションが高まりました。
文型といえば文型科目を中心に学習すると思いますが、文型を選択したからその理型科目にも気を抜かずに取り組まなければならないと思っています。様々な教科を学習することはとても大変で掛けそうになりますが、家族や友人などの周囲の人たちの支えを力に、これからも努力し続けていきたいです。



普通科 1年
足達 咲希
碧南市立中央中出身

私は、自分の好きな事と目標に向けてすべき努力を而立したいと思い、碧南高校に入学しました。入学当初は人と話すことに苦手意識があり、うまくやっていたらどうかと不安でした。しかし、普段の生活は行事を通してたくさん友達ができました。放課中にたわいもない話をしたり勉強で詰まった時に互いの苦手な所を教え合ったりする時間がとても楽しいと感じています。部活動でも優しい先輩方に恵まれて、この部に入ってよかったなと思います。
私は碧南高校に入学して以来、信じられない程楽しく充実した日々を過ごしています。今後より楽しい生活を送るために、努力し続けていきます。

進路実現



総合ビジネス科 3年
井ノ崎 晴南
高浜市立高浜中出身

私は、高校を卒業したら就職しようと考えていたので、就職した後役立つ検定を多く取得したいと思い、総合ビジネス科に入学しました。
数ある検定の中でも、私は簿記に力を入れて日々勉強を頑張っており、取得するのが難しい日商簿記検定2級に合格することができました。たくさくだけの課題や朝補習を毎日取り組むのは大変でしたが、集中力や継続力の大切さを学ぶことができました。総合ビジネス科で身につけた力のおかげで、第一希望の企業に内定をいただくことができました。
残りの高校生活では、まだ一つ取得したい検定が残っているのですが、勉強を怠らぬように努力を続け、後悔しないように過ごしていきたいと思っています。



普通科 2年
山田 大貴
碧南市立南中出身

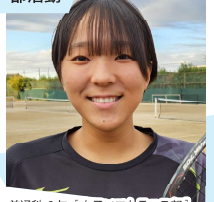
僕は建築をはじめとしたデザイン系の大学に進学したいという希望と、数学において計算する楽しさや解いた時の達成感が好きという理由で理型を選択しました。
理型では勿論、1年次と比べて理型科目の授業が多くなるので、分からないことや逃げ出したいことが多々ありますが、先生方が優しく教えてくださいます。たくさん質問に答え、学び、達成感を得る環境が充実している理型を選択して良かったと思っています。
理型で専門となる数学では、個々のレベルに合った授業を受けられるので、どんな人でも挑戦できると思います。これからも勉強を怠らぬように取り組んでいきます。



総合ビジネス科 1年
鎌田 陽暉
知立市立知立中出身

僕は、就職と進学のどちらにも対応している総合ビジネス科に入学しました。情報処理や簿記などの商業科の資格を取得するために、日々努力をしています。高校から学び始めた商業科の中でも、得意や苦手がありました。しかし、先生方とても分かりやすい授業や朝補習、授業内の小テストなどの検定対策のおかげで、自分の成長が目に見えて分かりました。
また、定期考査や検定の難しさをくじけそうになることもありますが、身の回りの仲間、友達と助け合い、支え合うことで困難を乗り越えることができます。これからも様々な壁をみなさんと協力して乗り越えていきたいです。

部活動



普通科 2年 [女子ソフトテニス部]
戸間 葵
碧南市立南中出身

女子ソフトテニス部は、現在部員13名で活動しています。いつも笑顔で溢れていて暖かい雰囲気の中、互いを励まし高め合い、一戦でも多く勝てるように日々練習に取り組んでいます。
今年度は5月の総合体育大会で県ベスト8、新人戦では県ベスト16という成績を残すことができました。今はさらなる上を目指し、部員同士で切磋琢磨しています。
学業との両立は大変ですが、先輩たちが勉強法のアドバイスをしてくれることもあり、先輩後輩の仲の良さがチームの団結にも繋がっています。仲間とともに高みを目指して頑張れる人、ぜひ一緒にソフトテニスを楽しみましょう!



普通科 1年 [男子バレーボール部]
杉浦 慶
碧南市立南中出身

男子バレーボール部は、体育館で週5回、部員10名とマネージャー6名で活動しています。部員は他の部活に比べて少ないし、ほとんどの部員が初心者でしたが、全員が真剣に練習に取り組んでいます。また、先輩・後輩関係なく仲が良く、とても良い雰囲気の中で練習ができています。
遅い時間まで部活に励むため、家に帰ってから勉強するのはとても大変ですが、休みの日や放課の少ない時間を効率よく活用しています。部活と勉強の両立は難しいことですが、仲間と協力しながら頑張っています。
新1年生の皆さんも、僕たちと一緒に全力でバレーボールを楽しみましょう。待ってます!



普通科 2年 [美術部]
瀬川 芽生
高浜市立高浜中出身

美術部は、部員28人で毎日楽しく活動しています。今は、1年生も2年生も大きな作品制作に取りかかっているところです。作品制作という、個人での活動に思える方もいらっしゃいますが、私は部員同士で話し合い、試行錯誤しながら制作に励んでいます。作品について話し合ったときも、1人で悩まず周りの部員に相談して、支え合い、励まし合っているのが日々頑張っています。
テスト期間と制作期間が重なって、時間が限られてしまう時もありますが、1日1日を大切に、勉強もしっかりとメリハリが大切だと感じます。中学生の皆さんも、部活と勉強の両立は難しいと思いますが、けじめをつけて頑張ってくださいね。

校長 コラム 第3回

「一歩、一歩、そして啓く」 校長 小田 智昭

今回の碧高ニュースは、本校在校生の皆さんが日頃「考えていること」「打ち込んでいること」「目指していること」などを、自らの言葉で紹介してくれています。学習、部活動に目標を持ち、それぞれのアプローチで達成に向かっていく事に対し、大変たのしく感じるとともに、心から応援したいと思うところです。
ところで、先日こんな新聞記事の見出しを見つけた。「カズ、プロ40年目に2月で58歳」というものです。サッカー元日本代表で「カズ」の愛称で親しまれる三浦知良選手が来季もアトレチコ鈴鹿というチームでプロとしてプレーする事が決まったという記事です。私事ですが、三浦選手と私は同学年であります。三浦選手は15歳で単身ブラジルに渡り、大変な努力で現地のプロ選手となったと聞いています。その後日本に帰って、1993年の日本プロサッカー「Jリーグ」に参加すると共に、日本代表チームの中心選手として活躍をされました。少年の頃に抱いた夢を実現し、さらなる高みを目指して進んでいく彼の姿は、私たち同世代の多くの人間にとって眩しいものであったと記憶しています。それだけに、日本代表チームがワールドカップに初出場した1998年フランス大会の代表から三浦選手が外れてしまった日

のニュースを聞いて、自分のことのように胸が痛んだ人も多かったのではなかったかと思えます。
「将来の夢を持つ」と簡単に口にしてしまうことがあります。しかし、夢を見つけることは、なかなか難しいものです。もしかすると、「夢を見つける」ということ自体が、夢物語といえるのかもしれませんが、中学、高校と進むにつれて、小さな頃に「こんなことがしたい」と思ったものどちがった進路を多くの人が選んでいきます。しかし、この「碧高ニュース」で語ってくれている生徒のみなさんは、今そこにある「目標」や「課題」に向かって前向きに取り組んでくれています。
三浦選手のように、時に挫折を味わいながらも、一途にひとつのことを追求していくことはすばらしいことです。一方で、コツコツと今やるべきことに向き合いながら、自分の進む道を見つけていくことも美しいと感じます。若いみなさんには、いろいろな人の人生を参考にしながら、一歩一歩進んでほしいと願ってやみません。それが本校の校訓「啓く」(ひらく)に通じる道だと思います。

「総ビの学び」、味わえます

【総合ビジネス科 × 九重味淋・木村建設(株)・オレンジボックス】

オリジナル商品発売開始!



message
総合ビジネス科 3年 **小笠原ひなた** (碧南市立南中出身)
浅井 咲希 (高浜市立高浜中出身)
木村建設株式会社・オレンジボックスと協力し、「チーズたっぷりタッパル」 「花しよぶくクラブ」の2品を新商品として開発しました。先輩方の課題研究での活動を顧客側で見て感じたことも活かし、子ども大人も楽しめるようにそれぞれの商品でターゲットを変え、デザート系とおかず系の2種類のクラブにしました。SNS用のPR動画や宣伝用の広告の作成なども自分たちで行い、自主的に行動する力を身に付けることができました。実際に販売をする時、お客様から直接嬉しい声聞けることにとてもやりがいを感じています。



message
総合ビジネス科 3年 **大柄根由奈** (西尾市立平坂中出身)
沼田 小町 (刈谷市立刈谷南中出身)
九重味淋主導で、地元企業の協力の下商品開発に取り組みました。おとうふ 工原いしかわと共同でみりんのみりん粉を使用した「うめまろ」を、ベーカーリードックと共同でクロワッサンとマフィンを学校や碧南市のイベントで販売しました。ドーナツは子どもでも手に取りやすいかわいらしいパッケージに、パンはみりんの幅広い活用法を多くの人に知ってもらうために一から作り上げました。予想を上回る人気になり、販売するたびに即完売となる、多くの人に愛される商品となりました。私たちが大きな達成感と喜びを味わい、高校最後の大切な思い出になりました。